

機密

第二課長

1450
機密第七九三號

情報部長

昭和十五年三月二十三日

在上海

總領事 三浦 義秋

外務大臣 有田 八郎 殿

本件ニ關シ當館警察署長ヨリ別紙ノ通報告アリタルニ付右何等御參
考迄報告申進ス

本信寫送付先 在華各總領事 香港
北支警務部長

別紙添付

情
15.3.29
底

INT/289. 104. 0068

107

1450

上警高秘第一五二〇號

昭和十五年三月二十一日

在上海總領事館

警察署長 白 柳 榮 松

在上海總領事
中支警務部長 三 浦 義 秋 殿

新四軍の作戰經過と建軍工作に関する件

本件は武漢陷落後所開第二期抗戰の相持段階に到る過程的期間中に於て中國共產軍の一翼たる新編第四軍が「今後如何にして新四軍の活動を活性化し過程的段階の必要性に適應す可きか」に就き特に一九三九年三月江南某地に於て開催せる參謀會議に於て爲したる新四軍副軍長項英の報告開文なるか既に時期を失しあるも内容相當檢討の價值ありと認めらるるに付何種參考迄報告申進す

外務省

CH 本標準規格B5

IMT 289.

106

0070

106

寫

1450

機密第七九五號

昭和十五年三月二十三日

在

上海
總領事 三 浦 義 秋

外務大臣 有 田 八 郎 殿

新四軍の作戰經過と建軍工作に関する件

本件に關し常館警察署長より別紙の通報ありたるに付右何種參考迄報告申進す

本信寫送付先 在華各總領事

香港

北支警務部長

外務省

CH 本標準規格B5

IMT 289.

105

0069

REEL No. A-0243

0069

アジア歴史資料センター

にして建軍、如何なる軍隊を建立するかのため我等の作戦経過を簡略に記述し我等の建軍工作の討論に對する一つの基礎となさるゝならぬ

第一本軍は皖南（安徽省の南部）に集中して點檢を驗したる後、四月十五日命を奉し指定されたる×の地區に於て敵側の游擊戦争を擔任し別の一部は鄂豫邊境より皖北の××線一帶に到着し游擊戦争を擔任したか我等の任務はこの地區に於て游擊網を構成し敵人を襲撃し敵の交通を破壊し以て敵を牽制するに在した

第二四月二十八日我等が江南に於て組織した所の先遣隊が出動を開始し、五月十六日には江北部隊が、湖、蔣家河口に於て第一次の勝利の戦闘を開始した同時に江南に於ては六月十七日鎮江、句容間の衛崗に於て初次の勝利を得たこの時五月十六日より今日迄十ヶ月の戦闘を繼續して來たかこれは集中、前進の時間を除き作戦時間を以て計算したる所の十ヶ月である

新四軍の作戦経過と建軍工作

我等の報告題目は一年來の作戦経験により本軍の建軍工作を討論する所の下の九項目に分たるのである

- 一、本軍作戦経過の概説
- 二、日寇の江南に於ける作戦に對する研究
- 三、我等の作戦経験と教訓
- 四、第二期抗戰と建國關係
- 五、本軍建軍の重要性
- 六、正規化の幾個の基本條件
- 七、本軍の建軍方針
- 八、建軍の具體原則
- 九、如何にしてこの建軍任務を完成するか

第一部分 本軍作戦経過の概説

我等は過去の作戦経験と教訓及目前の戦争任務と要求に根據し如何

第三この十ヶ月の作戦はこれを三つの時期に分けて説明することか
出来る

一、第一次作戦より昨年九月に至る迄は我等の部隊が江南と江北へ展
開したる後敵に向つて積極的進攻をなしたる時期である即ち我軍
作戦の第一時期である

二、我等が全面的に敵を脅威したるため九月敵は五路に分つて黄塚を
進攻しこれより後江南作戦の新時期が展開された即ち昨年十月よ
り今年の一月に至る間は我軍作戦の第二の時期である

三、今年一月より一方面に於て本軍は敵に向つて反撃的進攻を實行し
敵の陣營をして大いに動搖を發生せしめた然し、この時敵も亦新
政策と軍事的大追放を開始し軍事上に於ては艱苦の糾纏戦を形成
し政治上に於ては民衆の争奪戦が開始された斯様な形勢は一つの
新たな局面であるかこれは本軍作戦の第三の時期が開始された
と言ふことが出来る

(日本標準規格B5)

IMT 289.

109

0073

外務省

第四各時期の戦局的特點

一、第一時期、本軍が展開を了へて敵の各方面に向つて積極的進攻を
開始するや、その作戦の地區は完全に鐵道と公路上に集中された
我等の戦術統計と作戦地點によつて見れば百次に達せんとする戦
闘中百分の九十五は交通線上に於て行はれた例へは京燕路、京滬
路西段、京滬公路、京句公路、句鎮公路及南京附近等々の如くて
あるか我等は、かかる地區に於て、各交通線を守備する敵を攻撃
し重大なる打撃を與へたのである

又我等は敵の自動車を攻撃したか敵は常に被動的地位に處して敵
の交通を破壊し敵の據點南京等々をして極大の脅威を感せしめた
のであるこれ即ち第一期作戦の特點なのである

二、第二の時期、この時期に於て敵は最大の脅威と困難を感じたため
當時兵力を集中して武漢へ向つて進攻したる時にも拘らず交通
線の維持と戦術路中樞の南京を鞏固ならしめるため一部の兵力を

(日本標準規格B5)

IMT 289.

110

0074

外務省

の手段を以て、防禦の目的を達したに過ぎない故に戦局の形勢から言へば我軍は外線作戦より内線作戦に轉じたのである例へば我等は茅山を以て中心となし小丹陽を以て中心となす敵はその據點を構築し、この據點に據り我軍に向つて不斷の分進合撃を採用したるか如くである而してこれは第一期の作戦と不同の點にある

皖南（安徽省南部）の最初の一時期は完全に守備戦であつた後半期に於ては守備任務を解除し長江一帯に沿ふ游撃戦に改任し部分的進攻の地位を取得た第二期の主要特點として我軍は外線作戦より内線作戦に轉じ無論我軍は完全に小丹陽と茅山の間に制限せられたと言ふことではない然し主要な戦闘中心は依然この地區にして自然内線作戦を形成した我等の戦闘統計に據ればこの時期に於て我等は敵人の交通線上で少からず交戦してゐる而して戦闘地區は主として小丹陽と茅山を以て中心地區と轉じてゐる作戦中我等は多くの公路を破壊したか然し敵の修理力も甚だ強く

(日本標準規格B5)

IMT 289.

112

0076

分けて我軍を驅逐せざるを得ず、この際にて江南に於ける幾つかの突出せる幾つかの據點（例へば宣城、漂陽の二城）を放棄するの已むなきに至つた即ち兵力を抜いて一面には茅山を中心となす地區に向つて進攻し別の一面に於ては兵力を無湖と常途の間に増加し先づ青山、黃地、烏溪を占領し分區進攻を實行したこの時期に於ては我軍Xの支隊は命を塞して育才澤の陣地を守備したか、これは第二期に於ける一つの特點である。主として江南に於ける游撃戦に従事し同時に一部分は陣地に於ける守備戦を擔當したこの時敵は江南の交通を維持するため封鎖政策を採用し沿道には據點を構築し二つの包圍線と櫻花格の形式を形成し分區進攻を遂行し以て我軍の驅逐を企圖したのである育才沼の陣地に至つては、敵は經常的に防禦的攻勢を採用したか全體的に言へば江南の游撃戦も江南の守備戦も、敵は均しく消極的防禦から攻勢に轉じた然し基本的に言へば、やはり防禦を以て主となし、進攻

(日本標準規格B5)

IMT 289.

111

0075

に於ては敵は三回に亘つて増援をなしたか我軍の第一次攻撃に於て敵は最も大なる損傷を蒙り第三次攻撃に於ても又敵を撃潰し、敵が第二次増援を行つた後、始めて我軍は撤退したのであるこれによつて敵は少數を以て據點を固守することの危険を感じ、東海の戦闘後に於てはその據點を天王寺附近に変更し、先づ延阪據點を放棄したる後、續いて導) 野橋、西洋橋、茅山等々の小據點を放棄し大なる兵力を各必要なる據點に集中するに至つた我軍は過去十ヶ月の間敵と戦つて来たか敵は根花椿の方式を以て我軍の範圍を縮少し不斷の進撃をなして我軍を撲滅せんと企てた然し我軍は敵の目標となることを避けたから敵の此の種の戦術は餘り効果かなかつた、且つ我軍は根花椿の中に在つて反つて敵の處を突き、重大なる打撃を與へたのである、これに依つて敵は、その戦術を改變せねはならなくなつたそして第一次には軍を五路に分ち大官 に向つて大包圍戦を遂行した第三次には、敵路から

破壊すればその後から直ぐ修理すると言ふ有様であつた敵の進攻は去年九月より今年一月に亘り茅山地區に對して約二十回ばかり行はれた小丹陽地區に於ては十幾次の多きに達し敵は三路、五路、六路、八路と言ふ風に分れ不斷に我か地區に於て我軍を包圍した同時に我軍も又、不斷にこの地區に於て敵に向つて反撃し敵の據點を襲撃し敵との間に堅持的糾纏的戦争を形成したこれか第二期に於ける特點である三、今年一月よりの支隊は此の方面に於て敵に對する積極的進攻を開始した。たとへば、博望の戦闘、横山の戦闘、水陽の戦闘、官陡門襲撃の成功の如くであるかその後X支隊、X團は東海の敵據點に對して勝利的襲撃をなし敵の根花椿の方法に對し、相當の動搖を起さしめた何故なればこの三つの據點に對する攻撃に於ては固守する敵の九十パーセントを殲滅したからである特に東海の戦闘

雲台山を包圍した第三次には白兔以北に於て我に對し大包圍戰を展開したのであつた
右の三回に亘つて我を攻撃した敵の戰術は過去に於ける敵の戰術と完全に不問であつた

最近敵は政治上に於ても、積極的進攻を企圖してゐるが軍事上に於ても、また新たな戰術を採用するに至つた即ち敵か目前に於て採用してゐる戰術は軍事上我か軍を驅逐し我か軍を殲滅せんと入するのみならず政治上に於て一切の力量を集中し人心を收攬民衆を爭取し我か軍を孤立せしめ、以て江南占領地の統治を鞏固ならしめんとするに在る

三つの時期に於ける各個の特點は單に我か軍の側ばかりではなく、敵の側に於ても亦各時期に於ける各不同の特點がある、第一時期に於ては我か軍の進攻により敵は攻勢的防禦をなし第二期には敵は、その各種の企圖を到達する能はず我軍は依然として原地作戰を堅持

0079

(日本標準規格B5)

IMT 289.

115

外務省

して繼續敵に打撃を與へ遂に敵をして我軍に對する作戰經驗によりその第二期作戰の方針と戰術を改變するの已むなきに至らしめた、かくて第三時期の新段階に進じたかこの新たなる作戰段階に於ては我軍は戰術上、戰術上に於て新たなる改變を必要となすに至つた最も各時期の經驗と教訓によつて戰術戰術を執行し新時期の戰術を遂行するため我軍は組織上、指揮上、教育上、すべて新たなる改變を必要としたのである、かくて始めて新段階の任務に適合し第三期の作戰に適合し敵軍の我に對して採用する所の新戰術に適合するものであつた

而してこれは我軍の建軍工作をして全軍の面前に提起するものであつた我軍の作戰の優點と弱點に照し敵軍の特點に照して我軍を改變し我軍の新たなる戰術力を組織するものであつた以上は我軍作戰の第三期の特點に照し建軍の意義を説明せんとするものである

第二部分 日軍に對する江南作戰の研究

(日本標準規格B5)

IMT 289.

116

0080

外務省

119

1450

九月後に到り敵は宣城、溧陽の突出據點を放棄し、その兵力を以て我軍の活動地區に増加した凡そ戦術上意義のある地方は、これを占領して據點としての工事を施した例へは宣城、小丹陽の周圍と各交通線上である鐵道線上には如何なる小さな停車場にも守備兵が駐屯した公路上に於ける據點もまた増加された例へは京杭國道、京溧路、溧武路等である而して據點と據點の距離は最も遠く離れて一里半位である普通は半里位の距離に過ぎない言ひ換へれば人家のある處には必ず駐劄され大きな橋梁は工事を施して據點となされた形勢から言へば我に對する一種の封鎖包圍の形勢である既成公路に依據し又幾條の破壊された公路を恢復して我に對する大なる包圍圈が構成された更に圈内には多くの據點が構成された

梅花椿の形式が形成されたのである茅山の地區に於ては鎮江を以て策源地となし鎮江、句容、天王寺、金壇、丹陽の中間に於て一

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

118

0082

118

1450

各時期の戦闘に根據し各方面より日本軍の特點を研究する必要がある時に各時期作戦の方針と戦術はこれを具體的に研究する必要があるこの程の研究は我等の建軍に對し極大の意義がある

第一敵の江南に於ける兵力の佈置と變動

(一)我軍が江南に到達した前後に於ける日本軍の佈置はどんな風であつたか？主として重要都市と交通據點を中心として佈置されてゐた即ち南京を中心として蕪湖、鎮江等々の都市であつた然し南京には防禦に必要な程度を残しその餘の兵力は大部分南から南北へ分配された溧水、句容、金壇、丹陽、武進、江寧、宜興並に各交通據點、各重要ステーションには夫れ夫れ兵力を分配されてゐたか然しその兵力は鎮江、蕪湖を除けば僅かに一ヶ中隊一百數十名或は一部の砲騎兵に過ぎなかつた我軍が江南に到着して攻撃を開始して以來始めて敵軍の兵力佈置には變動が行はれてゐたのである幾條かの重要交通線、重要據點には均しく兵力が増大された

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

117

0081

普通一個中隊乃至一個大隊の兵力がある南京、蕪湖、鎮江は計策外として敵人の兵力は二個師團左右であると推定される

(一)第一時期の許多の交通線―京滬、京蕪路のステーションには偽軍の殺靖隊か警戒を擔任してゐたか我軍の襲撃と消滅を受けたる後敵は日軍の守備兵を以て交代せしめざるを得なかつたそして殘餘の殺靖隊は南京に集中して訓練を加へることとなつた

(二)第三時期の開始に當り敵軍には次の様な趨勢が起つた即ち部分的に小據點を放棄し、大據點の兵力を増強した。敵軍の兵力と部署の變動に付いて言へば、第一期より最近の第三期に至るまで、その兵力は五、六倍に増加された恰も星棋を羅布したるか如く交通線と據點に滿佈されてゐる目前に於て敵軍は部分的に一部の小據點を放棄し必要據點の兵力を増強したこれは大規模の「掃蕩」を実施し我軍を殲滅するためであるそれは決して基本上、封鎖と據の政策を放棄したものではない然し我軍が若し繼續して敵の據

つの大なる封鎖線と包圍線が形成された小丹陽より蕪湖、秣陵關、溧水、盩眙一帶にかけてもまた一つの封鎖線と包圍線を形成してゐる而して南京は、その策源地である敵軍の進攻はその都度周圍の據點から我に對し分進合擊の方式によつて遂行されるのである例へば小丹陽を攻撃する部隊は盩眙、秣陵關、溧水から現はれ茅山を攻撃する部隊は天王寺、句容、金壇、鎮江から来るか如くであるこの時敵の兵力は交通線の各據點に分佈して我に對する封鎖を實行する外、別の一部の兵力は樺花椿の據點を守るのである殘念なことにはこれらの據點に對し我等は未だ詳細なる統計は作つてゐないか簡單なる比例を以て言へば我軍が江南に達した時この種の據點は二十數個に過ぎなかつたか現在では皖南を除いても百五六十個ある而して皖南には三、四十個の據點がある斯くの如く敵の據點は三十數個から百個に増加してゐる約七、八倍の増加である各小據點の最少兵力は一個少隊にして比較的大なる據點には

攻撃を加へたか然し我軍は敵軍が引揚げたる後、直ちに原活動地区へ歸還したのであるこれか即ち敵軍の我軍に對する辦法、方式であつた

政治上に於ては敵は游撃隊反對のスローガンを用ひ一部游撃隊の規律の不良を利用し又、人民の之れに對する反對心理を利用し人民と游撃隊との離間を企圖してゐる我軍は江南に達して以來は、共產黨反對のスローガンを用ひ「共產黨をやつてきたそして共產主義を實行しようとしてゐる」と言ふ様な宣傳をなし、この様な威嚇によつて民衆の我軍に對する接近を妨害せんとしたのである第二には焼殺鎮壓の手段を以て民衆を威嚇し民衆をして我軍に接近せしめざることを企圖した即ち我軍が某々地區に於て活動するや日本軍はこの地區に向つて進撃し民衆に對し大いに焼殺を逞しふするのである、これは民衆をして「この地區では戦争してくれぬな」と我軍に要求せしめたるためであるその後我軍が幾多の勝利を獲得し且つ規律が

點を攻撃するならば敵は必然により多くの小據點を放棄するに至るであらう

そして大據點を固守するであらう兵力を幾つかの地方に集結するであらう、何故なら敵は兵力が足りないからであるこの基本的原因によつて敵は、かくせざるを得ないのである

第三各時期に於ける日本軍の作戰方針

第一時期―我軍が始めて江南に達した頃日本軍は軍事上に於て、爾餘の游撃隊に對する方針―青威驅逐を以て主となす―を以て我軍に應對した例へは我軍が日本軍に向つて襲撃をなしたる場合日本軍はその翌日大軍を以て我軍を搜索し包圍攻撃すると言ふ方式を採用したのである而して日軍のこの方法は爾餘の游撃隊に對し相當の効果を擧げたのであつた即ち油斷をしてゐた游撃隊は往々にして損害を蒙つたのである敵軍は衛崗、新塘、新豐、東昌衛等の戰闘後その兵力を増加し、その翌日に於ては我軍の活動地區に向つて進撃し包圍

125

1450

第二時期 敵軍の方針は我軍との作戦経験に根據し政治上に於ては、造謠・威嚇・鎮壓より欺瞞的懐柔政策に進み、場合によつては一面欺瞞・一面壓迫の方式を採用した。例へは某所に於て我軍を発見した日本軍は、この地の一部家屋を焼拂ひ「今後お前達か新四軍に協力しないなら不焼・不殺・一許してやる」にしてやる。又新四軍に付て跳けないなら、やはり不焼・不殺にしてやる」と聲明した且つ事實上、斯くの如くし、民衆をして我軍と疏遠ならしめ漸次民衆の日本軍に對する觀念を改變せしめやうと企圖した

これは第一時期の方針と不同である別の一方面では江南各地に於て大いに反共運動を進行し、平和のスローガンを提出した即ち「平和を破壊するものは誰であるか？それは中國軍隊、中國共產黨である故に和平を取得するためには須く共產黨に反對し黨軍に反對し游撃隊に反對せねばならぬ」と言ふ様なものである江南の兩面派に對しては強制手段を採用し彼等に對してその態度を明かにし速やかに偽

外務省

(日本標準規格B5) IMT 289.

124

0088

124

1450

非常に正しいため民衆は事實上より我軍を認識し敵の宣傳する所の「共產を實行するんだ」と言ふ威嚇は何等の効果を有しなくなつて來た且つ民衆は「敵は謠言を放つるものなり」と言ふ認識をなすに至つた

その後我軍が江南に於て堅決的に戦ひ多くの勝利を獲得し民衆の抗戦情緒を高めしめ我軍の抗戦動員工作が大いに展開されたるため敵軍の計劃は全面的に失敗に遭着し、遂に軍事上に於ても政治上に於ても、其の方針を改變せざるを得なくなつて來たのである

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

123

0087

127

1450

を縮少し並にこの據點によつて我に向つて不斷の攻争を實行し戰術上には分進合撃を採用し我軍を打撃し我軍をして此の地區より退散せしむべく壓迫し且つ游撃方式を以て我軍の游撃に對應し、今日に至るも皖南にては此の種の游撃的方式が存在してゐる、而してこれは敵軍の第二時期に於ける軍事的方針である

第三時期 最近に於ては目前の新段階に根據し我等は第二次政工會議の報告に於て敵軍の江南に於ける企圖及周副部長が其の歡迎會席上に於て提出した所の「新段階中に於ける敵軍の新政策新模様」に論及した、これを一句に總括すれば敵は過去に於ける専ら軍事の力量によつて、中國軍隊を消滅し中國の滅亡を達到すると言ふ方針を改變した即ち敵は武漢占領以後此の種の方針では所期の目的を達到する能はることを知つた中國は抗戰中に於てよく抗戰を堅持するのみならず且つ各方面に於て非常な進歩をなした、そこで敵人は從來の「速戰速決」の失敗より「速和速結」と言ふ新たな政策に轉

外務省

CH 本標準規格 B5)
IMT 289.

126

0090

126

1450

政權を恢復せんことを要求するのであつた何故ならば江南の多くの偽政權は我軍のため片つはしから摧毀せられたため、保甲組織を利用し民衆を強迫して「護路團」「護路隊」等を組織せしめ各區域的に責任を負はしめんとするのであつた即ち此の保甲は此の區域を擔當し彼の保甲は彼の區域を擔當すると言ふか如くてあるそして中國軍隊か、やつて来る時は直ちに日本軍に通報せしめ若し報告しない様な事かあればまた公路の破壊されたことを報告しない時は、直ちに嚴重なる處罰に處し、又漢奸を利用して到る處宣傳を行はしめ國民の復歸を勸告し以て商工業と交通の恢復を企圖するのであつた而してこれは江南の民心を收攬する敵軍の政治的新辦法であつた軍事上に於ては主として封鎖政策を用ひ、到る處據點を構築し交通線に沿ひ連續不斷の據點を構築して交通を維持する外又我軍の活動基地を進占し戰術上重要意義を有する所には櫻花格式の據點を構築し軍事上に於ける重疊たる包圍と封鎖を形成し以て我軍の活動範圍

外務省

CH 本標準規格 B5)
IMT 289.

125

0089

REEL No. A-0243

アジア歴史資料センター

129

1450

ならぬ彼等は民衆を利用し戦争に疲れてゐるもの或は苟安の心理を有する民衆に取入り、甚たしきに至つては「我等も本を正せば中國人である現在我等は祖國に歸つて來たのも同様である」と言ふような事を言つて民衆を欺き、又各種の好感を施して人心の收攬を計つてゐるかこれは言ふ迄もなく敵人の政治的陰謀である、商工業の恢復・農村經濟の恢復に至つては表面上では人心の收攬方法なるか如くであるか實際上に於てはこれによつて中國の資源掠奪を達到するに存する然しその軍事的力量を以て我軍に對付しない限り絶對的に中國の人力・物力・財力の利用を達到することか出來ない
即ち政治的・經濟的・目的は達せられないのである故に敵人は須く軍事上に於て我か游撃區に對する大規模の進攻を實施せねばならぬのた久しからざる以前敵軍か三つの「綏靖區」に向つて「掃蕩」を實施したのはこのためである即ち一は蚌埠を以て中心となし一は大湖以西一は大湖以東である彼等か所謂綏靖工作を準備してゐるの

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

128

0092

128

1450

換せざるを得なくなつて來たのである新たなる政策と言ふのは主として中國の長期抗戰の困難性に鑑み軍事中心主義より政治中心主義に轉向し占領地區の鞏固化を計り、中國の人力・物力・財力・を利用し以てその困難を解決し同時に戦争を繼續し占領城市と交通線に據つて未占領區域を統制支配すると言ふことである、江南に於てはこの種の企圖が十分に表現され目下敵人は江南に於て「防共運動」を擴大する外更に各地に於て「東亞新秩序」建立の運動を進行しつつある、商工業の恢復・交通の恢復と言ふか如きスローガンは今や農村の振興、江南棉業・絲業の恢復等々の、スローガンに發展してゐるまた災民・難民の救済工作か進行され又「人民自衛團」「防共青年團」等の團體か組織され民衆はその参加を強迫され或は利誘されてゐる土匪式の地方部隊は動搖を起し叛變を實行するためこれを南京に集中して訓練を施してゐる、また新たなる壯丁を募集して綏靖隊の擴大を計つてゐる、これは日本軍を減少するための準備に外

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

127

0091

REEL No. A-0243

0072

アジア歴史資料センター

つて我軍の活動を不便ならしめ彼等自身は各據點に據つて相策應し目標を発見したる場合は各路から迅速に圍堵し一面には包圍し一面には堵撃し縦深の配備を採用し、幾層かの包圍をなし一層か衝いて出つればその後更に更に一層あり以て殲滅の目的を達すると言ふ方式である例へば敵軍が最近五路を以て大官圩を進攻し四路を以て雲台山を堵撃し六、七路を以て白兔、上下會を進攻したるか如くである、彼等は豫め一定の地點を選定して包圍圈を作り大なる兵力を用ひて正面より我軍を壓迫し我軍が包圍圈内に陥るのを待つて猛烈なる合撃をなし以て我軍の消滅を期すと言ふ方式である

日本軍の戦術は一般的掃蕩より圍困封鎖に進み更に合撃に進んだか最近では更に分進合堵に轉變するに至つたこれは即ち戦術變更の過程である

第四・日軍の我軍に對する對策

以上によつて日軍は昨年より本年に至つて作戰方針と戦術を變更し

(日本標準規格B5)

IMT 289.

130

0094

はこれによつて明らかた、斯くの如く第三時期と第二時期の敵人の企圖と戦術は完全に不同である

第三・各時期に於ける日人の戦術上の演變

第一最初日本軍は我軍に對する認識不足のため一般的「趕」の戦術（兎を追ふか如き體勢の戦術即ち掃蕩戦術）を用ひ、奇襲的に攻撃し來り而して直ちに引返すと言ふ有様であつた然しこれは到る處に於て失敗を喫した故に第二時期に於ては「趕」の戦術より進んで一種の圍困、封鎖の戦術を採用した、又幾多の櫻桃椿の據點を構築し游撃式の戦術と分進合撃の戦術を採用したのである日本軍はこの種の圍困辦法、威逼辦法を以てしたか、然しこの種の辦法は何等効を奏する事か出來なかつた故に日本軍は更に合撃の辦法を採用したのであるしかし、これ又、我軍に對し何らの損害をも與へる事か出來なかつた最近に於ては戦術上更に一步を進めて圍堵の辦法を採用し以て我軍の殲滅を期してゐる即ち大規模封鎖と櫻桃椿の據點によ

(日本標準規格B5)

IMT 289.

129

0093

1450

和平運動より「東亞新秩序」と「東洋の安定」を建立する運動に進んで人心を收攬し我軍と民衆の争奪をなし民衆をして我軍から離脱せしめ、而して孤立せしめんとしてゐるのである。

軍事上に於ては我軍が游撃戦に長しまた堅苦戦闘することを明らかに理解し我軍の夜襲に對しては即ち晝間に睡眠を取つて夜間に動作し以てこれを防止せんとしてゐる我が據點の攻撃に對しては初めは宿營地を轉換しその次には據點の周圍に工事を構築し我軍の襲撃に遭つた後は一步を進めて據點中に地洞を造つてこれを固守した我が伏撃に對しては即ち公路及灣曲して襲撃を受け易い地點に據點掩護を構築すると同時に我軍の橋梁破壊に對してはその橋梁破壊が小さければ浮舟を通過し大なれば據點を構築して防守してゐる部隊運動には常に道路を變轉し來た路を通らずに歸り常に小路を通つて居る自動車に對しては即ち装甲車を用ひてこれを掩護してゐる自動車運動は一列縦隊に續いて走るのはなく段に分つて躍進し軍事輸送に

0096

1450

たことは日軍が我軍の理解と特點とを参照してその對策を改進したものであると考へる事が出来る。

これら總括して言ふならば敵人は深く我軍が到る所民衆の擁護を得て最も頑強なる力量を形成することを知つたのであるこの故に敵人は極力一切の方法を用ひて我軍と民衆との聯系を離間し我軍をして民衆の幫助を失はしめ而して孤立せしめんとしたのである最初は簡単な「共產」を以て民衆を威嚇し民衆をして敢へて我軍に接近せざるやうしたか續いて「威鎮」の辦法を用ひ、また威鎮から「恩威並濟」の方法に進んで一方に於て威脅すると共に一方に於て恩を施し「懷柔欺騙政策」の目標に轉した甚たしきに至つては我軍を擁護する民衆に接近して、かかる口號「既往は咎めぬ只以後は新四軍と聲氣を通してはならぬ過去に關しては咎めはしない」さへ提出したのである反共を進行する運動中彼等は民衆を威迫して「防共青年團」を組織し金錢を利用して中國民衆の好感を買ひ最近では更に

0095

135

1450

少してゐる。また金錢を利用し、漢奸を買収し我軍の行跡を報告させ突然包围を實行してゐる。日軍は甚だ速に自己の弱點を改正しよく相手の弱點を探し相手の特點を研究し、隨時對策を改變してゐるこれは日軍の長所である。

我等は須らく、これらに付いて認識を明らかとなし注意せねばならない所である。

第五、日軍の特點と優點

一般的特點

(一) 初めに先づ日本軍の中國侵略から言へばこの準備は甚だ久しいもので幾十年の準備と計劃を経過してゐる中國の情況に對しては特に諒解し且つ研究してゐる。であるから日軍は他の敵人とは比較にならない。彼はよく中國社會と民衆中の多くの弱點と心理を利用してゐる。例へば彼等は中國社會の各種複雑の現象を頗るよく了解しまた一步を進めて中國人の心理を深く知つてこれを利用し

(日本標準規格B5)

IMT 289.

134

0098

外務省

136

1450

於ては事前に武裝警戒を沿道に配備し一舉に通過して我軍をして接近せし得せらしめ、襲撃遂行には我軍が襲撃に成功した後に行つてゐる日軍は我軍が成功によつて警戒を緩めた時を利用して襲撃を行ふのであつて游撃戰は緊張のため疲勞するので警戒は夜間か疏忽となり易い。であるから敵の我に對する進攻は多く夜間の行動を採り拂曉攻撃、或は夜間襲撃をなし歩哨の眼を晦して突然攻入して防備の暇なからしめんとしてゐる日軍は一面に於て各種の方法を用ひて我軍の進攻に對應し、一面に於て弱點を尋ね出撃してその特點を研究し進攻方法を改變してゐる例へば彼等は我軍が多くの特點を持つてゐることを知つて過去に於ては分進合撃を用ひ我軍が突入すれば分進合撃を改用して分進合撃にして配備を縱深し幾重にも警戒陣を重ねて隙間からの突入することか容易でないやうにしてゐる。また我軍の行動が機敏でその行跡が飄々として居れば日軍は内戦時の保塁經驗を利用して據點を構築して封鎖を行ひ以て我軍の活動範圍を縮

(日本標準規格B5)

IMT 289.

133

0097

外務省

137

1450

してゐる。行軍、宿營、作戰に付いても勿論、そうである。これは彼の組織が嚴密であり命令指揮が統一してゐることを證明してゐる。

四 彼の中下級幹部は他に比較して強く戰術の運用は靈活であり、よく指揮し部隊を掌握して居る。中國の軍隊に比較して日軍幹部は嚴格なる教育と訓練を経てゐることは一般的な特點である。

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

136

0100

136

1450

てゐる。青幫と江南の兩面派の利用。江南、一部民衆の目前を安んずる心理の利用の如きや義兄弟となつて好感を結ひ小惠を施し小供に、キヤラメルを與へる等々の如きである。

(二) 彼等は中國軍隊に對して研究を行つてゐる而して且つ不斷に研究を續け中國軍隊の特點と弱點を了解し隨時彼の戰術と進攻の方針を變更してゐる彼は江南に於て最初我軍を了解しなかつたか。あとなつて我軍と其の他の軍隊は同様でないことを知り一般的に游撃隊に對する辦法を用ひずに我軍に對應し來つた全國の游撃區には我軍地區のやうな嚴密な封鎖據點と民衆を爭奪する辦法はないこれは日軍の長所である。

(三) 日軍は組織上に於ては比較的嚴密であり通信連絡は良好であり命令と指揮は統一してゐるから一度ひ敵に接觸したら周圍附近の軍隊は相互に増援し或る一方面で打撃を受ければ即刻その他の部隊に通知すると同時に改善して再びこれらの事かないやうに努力

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

135

0099

敵人の戦術上に於ける特點

一 日軍は戦術上に於ては甚だ靈活でありよく變化し水く一様ではな
く變化は頗る速やかである。彼は中國の内戦を得た所の經驗を利用
するのみならず且つ作戦するに當つて之れを利用し自己の戦術を
改變して居る故に我等は日軍との作戦に對してはこのやうな認識
が必要である。

二 彼は如何なる戦術の動作上、行動上に於ても悉く戦術の原則に照
らしてこれを行つてゐる。勿論大なる戦術、小なる動作に拘らず悉
く戦術上の原則に照らして行動を實施してゐる。

三 戦術上の特點は大規模の作戦、游撃戦に論なく戦術上に於ては均
しく迂迴包圍を採用してゐる、これは游撃戦のみならず正面作戦
に於ても頗る速かに小敵の兵力を以て正面を制壓して主力は兩側
に向つて迂迴包圍する。

四 各個部隊の配合と協同動作は比較的良好であつて、よく戦術上の

原則と戦術上の要求とを一般的規定に照らして正確に進行してゐ
る。

日軍の戦術中に於ける特點

一 中下級幹部が頗る強いためによく部隊を掌握することゝ出來進攻
退却に論なく均しく自己の部隊をよく掌握して當然として亂れな
い。

二 動作は緩慢であるが然し部隊の展開は頗る速やかである。

三 火力と歩兵の配合が良好である。

四 隊形をよく隐蔽し戦術中に接收して、各個前進、迂迴前進等を皆上
く確實に進行する。

五 村壁に紀律があり指揮があり亂れた銃撃をしない故に工兵の動作
は班長の指揮でよくなされる。班には班の指揮があり排には排の
指揮があつて完全に指揮による動作がなされる。

六 進攻時に退却しても頗るよく速かに集結して進攻を繼續する。

外務省

(日本標準規格 B5)

IMT 289

138

0102

敵人の戦術上に於ける特點

一 日軍は戦術上に於ては甚だ靈活でありよく變化し水く一様ではな
く變化は頗る速やかである。彼は中國の内戦を得た所の經驗を利用
するのみならず且つ作戦するに當つて之れを利用し自己の戦術を
改變して居る故に我等は日軍との作戦に對してはこのやうな認識
が必要である。

二 彼は如何なる戦術の動作上、行動上に於ても悉く戦術の原則に照
らしてこれを行つてゐる。勿論大なる戦術、小なる動作に拘らず悉
く戦術上の原則に照らして行動を實施してゐる。

三 戦術上の特點は大規模の作戦、游撃戦に論なく戦術上に於ては均
しく迂迴包圍を採用してゐる、これは游撃戦のみならず正面作戦
に於ても頗る速かに小敵の兵力を以て正面を制壓して主力は兩側
に向つて迂迴包圍する。

四 各個部隊の配合と協同動作は比較的良好であつて、よく戦術上の

外務省

(日本標準規格 B5)

IMT 289

137

0101

141

1450

内士兵は悉く遊泳する
はよく各自に作戦するから撃たれるものか多く一人でも生残れば
いて撃つこれか日軍士兵の特長である

第六 日軍の弱點

(一) 日軍は中國を侵略するために最近彼等の軍紀を破棄して懐柔的
清政策に改めたが然し過去の侵略的殘虐行為のために廣大なる民
衆の彼等に對する好感を得ることは出来なかつた或る少數の漢
奸を買収してゐる即ち兩面派は今日と雖も日軍を歓迎招待して
る然し其の大多數は中國側にあるのであるこの點日軍は作戦中に於て
極めて大なる困難に遇つてゐるこれは彼ら破大の弱點である

(二) 日軍が利用する漢奸はその多くは流氓や地廻りや官更等の分子
であるこの一部の漢奸は民衆中に於て信頼を得ることか出来な
から効果ある作用を起し得ない

(三) 彼等は偽軍を組織し利用してゐるが然し彼等の多くは土曜であり

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289. 140

0104

140

1450

日軍士兵の特長

(一) 士兵は嚴格なる軍事訓練を経てゐるので各個戰鬪の動作は比較的
に熟練してゐる

(二) 服従性は特に強く指揮をきいて動くと言へば動かす前進せよと
言へば前進し決して違反しない

(三) 横暴頑強であるかこれは當然軍國教育によつて中國に對する
心を倍々された結果と痛烈なる打撃を受けたことかないため
る包圍されても増援が速やかたことと我等の敵軍工作が減少な
めである故に敵軍は現在でも横暴な態度を示してゐる我軍は多
くの戰鬪に於て特に支隊か日軍と作戦した時に於ては常に肉弾
を傾したか設さねは容易に統を奪ふことは出来なかつた

四 射撃技術が相當正確である

五 體格は丈夫であり氣力は大で我軍は二人で彼等一人にしか相
しな

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289. 139

0103

REEL No. A-0243

0078

アジア歴史資料センター

143

1450

或者は彼等が撤退する時に於ても彼等は敢へて追撃しなかつた彼等の機微戦術包圍戦術は殆んど成功しない只火力によつて備置してゐるのみである

内日軍軍家の現任に付いて言ふならば彼等は中國の軍家に對して頗る監視的であつて警戒心は頗る重く常に警戒が疏忽であり或る一時緊張してもまた緩慢となつてしまふ我等は此の點を利用して彼等に打撃を與ふべきである

出士兵の動作は頗る愚鈍であり頗る遲鈍であると同時に過勞に耐へる事が出来ず暗天に長距離行軍すれば熱病に冒され、雪日同等には凍死する許多の各路進攻中我等は彼等を甚た多數は殺さなかつたか多餘くの凍死させる事が出来た

第七 日軍の自己補給に對する補救の企圖

一 廣大なる民衆を爭取すべく彼等は占領地區中に於て維持會を建立してゐる古くからある漢奸はよく功を奏し得ないので威脅方法を

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

142

0108

142

1450

錢を用ひて誘はれてゐる不堅定なる地方武装である最近では多くの壯丁を押収して綏靖隊を組織しまた自衛團を組織してゐるが然し、これらの軍家と武装は能力なきものであつて自己の兵力として作戰に使用することは出来ないのて彼等の疲勞を減少するものとはならない結果、彼等は軍力の使用を減少してゐる

四 日軍には設備な起事があり彼等士兵はこれに拘束されてゐるので現在では一般的に規律は良好である然し一度ハ彼等が主要なる地方から離れたならば姑娘を「才花」してゐるこの種の規律破壊の事情は辦法を以ては制止することは出来ない、この種の行動は彼等の軟弱が大なる作用を起すことは出来ないことを證明してゐる民衆はこの事實を見てゐるか故に中國人民を收購して日軍に對する仇恨を肖余することは出来ないのである

五 日軍士兵は攻撃精神に缺乏してゐるこの攻撃精神がないために彼等は戦術上に於て迂迴包圍を採取しても殲滅の目的に到達し難い

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

141

0105

195

1450

(一) 我軍十ヶ月來の作戰経験を以て日軍戰鬪力に對する一つの
値踏みをすると言ふことは正に必要である一般的に言へば現在日
軍の戰鬪力は最初に比して減弱した然しこの種の減弱は限りある
もので大なるものではない先づ目前江南に於て作戰してゐる日軍
について言ふならば後備役が漸次増加し甚だしきに至つては幾ヶ
月かの訓練を経たのみで中國に補充され作戰してゐるから自然戰
鬪力と作戰經驗に隔隔りがある例へば付撃技能等は以前の様に正
確ではないこれは歩兵機銃のみならず砲兵の射撃でも正確さか失
はれ頗る多くの砲彈を以て少放を殺傷し得るのみである我軍は十
ヶ月中三百回に亘る作戰を経験したか我軍の死傷と敵との比は
我が死一に對して四の比である然し敵人の付撃指揮と紀律は良好
であつて各種兵器の有効射程内に至らなければ素りに付撃しない
これは彼等の優點である然しこれは射撃標準が正確であると云ふ
ことにはならない目前敵人は據點附近に於て常に時間を利用して

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

144

0108

194

1450

採取し或ひは威迫方式を用ひて地方紳士や民衆に信頼ある人士を
強迫して維持會を組織し自己の統治を建立してゐる
(二) 彼等は許多の欺瞞方法を採取してゐる例へば土匪を打ち人民生活
の安定を保護し救済を施し農村を振興して總役せず中國人と義兄
弟を結んで義母に金錢を送りまた小供に品物を與へて好感を得所
くして民心を買収してゐる
(三) 保甲制度を利用して民衆を束縛し敢へて行動し得ないやうにして
ある
(四) 許多の敗殘兵と叛亂した地方部隊を買収し壯丁を抽出し南京に於
てこれを訓練して綏靖隊を成立し兵力の不足を補つてゐる
將來之れ等の綏靖隊を利用して彼等の力量を強加し少くとも彼等
の據點を固守せんとして現在既に自衛團綏靖隊、警察隊等を使用
してその據點に配合せしめてゐる

第八 目前の日軍戰鬪力の推算

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

143

0107

147

1450

か出来る

(四) 我軍は敵軍工作上に於て頗る多くの宣傳を行つたので既に少数乍ら頗る速かに説を投げ出すと言ふ事件が発生した然し工作の効力か未だ僅少であるのは我等の工作か一般的には反つて漸進的進行がなく甚だしきに至つては或地方では廣大なる民衆の激昂と擁護の造成がなかつたからである何回かこんな現象が発生した、日兵を捕へた老百姓が彼を殺したのである之れは悉く日軍をして此の種の事件を利用して宣傳せしめ、士兵を鼓動して反つてその頑強性を保持せしめたるに至つた、我軍は日軍作戦に於て十ヶ月の作戦経験を傳日軍戦闘力を削弱化したか、然し此の種の削弱は大したものではない

第三部分 我等の作戦の経験と教訓

(一) 十ヶ月の作戦経験を根據とすれば我軍が上く江南の斯の如き地形と敵人の嚴密なる梅花樁式封鎖の条件下に於て作戦を堅持しよく

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

146

0110

146

1450

實弾付撃を行つてゐる

(二) 遊撃戦に對照するためには敵人は重兵器と空軍戦車等を配合し得ないので常に一般的に輕兵器と少数の歩兵砲を配合してゐるので僅減した火力を大々的に施すことが出来ない大體に於て歩兵の動作に頼つて居るこれは彼等の戦闘力が減弱した一つの原因であり更に我軍の夜間動作のために彼等の火力は効用を減少してゐる

(三) 遊撃戦は特に夜間である關係から正面的な戦闘は少く突然端的な肉迫戦が多い然して日軍の體格は強く力量大であるか突撃と肉迫の精神が缺余してゐるために撃潰殺死し易い

(四) 我等は數十回の據點襲撃に於て多く大功と肉迫戦を用ひて多くの同敵に亘つて敵人の全部を殲滅した之れは敵人の精神に對して震撼を與へ恐怖心を發生せしめた假りに若し我軍が殲滅戦を幾度し更に多次に亘つて敵人の全部を殲滅し殲滅せしめたならば之れによつて日軍の闘志を喪失させ更に彼等の戦闘力を削弱する事

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

145

0109

149

1450

考慮し必密裡に行動して敵に進攻を加へると言ふことは之れ攻撃
勝利の妙諦である我軍が得た経験から言へば若し偵察が周到であ
り、配置が周密であるならば迅速に進攻する事が出来ると同時に
必密裡に敵人に接近して突然の進攻を實行する事、出来それらの
據點を頗る速やかに潰滅することか出来る偵察が精密ならす配置
が周到でないならばその結果は予期の効果を擧げる事が出来ない
最近東海の戦闘の如きは據點の敵を潰滅はしたか然し周到なる配
置が缺乏して居り、からの速速なる増援にいての値剛がなく値
天王寺方面に對してのみであつた假りに若し我等がより多方面に
兵力を配置する事を考慮したのであつたならば第一次に増援し來
つた敵を全部潰滅し得たであらう第一次増援の敵は約八九十でそ
の内七八十を殺し、第二次増援は約百で全部を潰滅したか、か
らの第三次増援の敵は約三百圓背より進攻し來つたので我軍は敵
退せざるを得なくなり遂に潰滅して戦果を擴張する事が出来な

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

148

0112

148

1450

敵人の間隙を利用し敵人を攻撃し敵人を打撃し得た最も基本的な
ものは民衆の擁護を取得したことである此の基本条件下に於て
こそよく存在しよく堅持しよく敵人の據點を利用し多くの勝利を
取得し得たのである
これは明らかに遊撃戦は廣大なる民衆に依頼してこそ即ち、より
勝利發展するものであり
少き民衆の同情のみでは積極的な補助と作戦参加は得られず作戦
の勝利と發展に影響するものであると言ふことを説明してある
(一) 敵人の斯かる条件下に於て作戦するには靈活、敏捷必密の行動を
必要とする此の作戦の基本的条件の一つは安全を第一としてその
次には疲勞を忘れることであるそうてなければ行動を必密にし得
ず疲勞してゐるかために機敏性を失ひその結果は往々にして敵
人の襲撃を受け打撃と損失を蒙らねはならなくなる
(二) 秘密なる偵察工作を以て作戦時には部署を周密にし周圍を詳細に

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

147

0111



157

1450

ものである但しこれは投擲標準が正しくなければならぬ我軍は手榴彈の投擲を練習して手榴彈の威力を發揮せねばならぬ現在でも手榴彈の効果を収めてはゐるが然し手榴彈の爆發後に於て敵人を震倒せしめても自らは迅速に猛烈なる突撃を進行することか出來ず敵人をして機に乗じて抵抗に屈たしめ完全に敵人を殲滅する目的に到達することか出來てゐない

(四) 敵人を伏撃する時は必ず周密なる部所の配置が必要であり、且つ嚴格なる紀律が必要である必ず敵人が伏撃の圈内に到達してから突然猛烈なる火撃を施し敵人に大なる殺傷を與へ迅速なる復讐を以て敵人をして火力の展開を不能ならしめ原有の地形を利用して進んで抵抗することか出來ないやうにして、以て正面戰鬪の形式を免れねばならぬ

四 自動車伏撃の經驗によれば嚴密にして組織ある火網を配置し、機銃、手榴彈をして組織あり秩序ある連續射撃をなさしめねばなら

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

150

0114

150

1450

つた

(四) 警戒は周到を必要とし且つ周囲に注意する必要があるのは海化倍型(戰鬪上の兵員配置陣形を言ふ)内の地區が頗る狭少であり周圍には敵が居るからである旋回は困難であるか敵人は分當合撃するものであるから敵を接近せしめて逃れ得ないやうにせねばならぬ且つ警戒線は宿營地から相當の距離かなければならぬ

(五) 偵察は常に行ひ且つ周密であることが必要であつていい加減であつてはならぬ周密なる警戒が必要であるのみならず各人が皆注意せねばならぬ細心なる考慮、判断、警戒、緊張が必要である偵察員は續けて派出し中斷せず中間で變動が發生したのを見落すやうなことがあつてはならぬ

内 十ヶ月の經驗に據れば手榴彈は最も威力ある火器である日軍は最もこれを泊れて居り有効な武器であつて敵人に接近し肉迫突撃する時や伏撃はかりてなく襲撃にもよく頗る大なる威力を表現する

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

149

0113

1450

を縦梁して側面に配備し敵が真側から包圍することを防禦せねばならぬ

(四) 大部隊の敵を封鎖圈内の行動に於ては水く停留せしめて分合を限定してはならぬ常に一つゝの地方に集中する事は敵人に發覺され敵人の襲撃と包圍を受けやすい

(五) 作戰の経験に據れば敵人の力量を牽制し分散し敵人の進攻目標を轉移せねばならぬ破壊と作戰は並行せねばならぬ

(六) 我等は被動中から主動を爭取せねばならぬ、この原則の三つは次の如くである

- 1、内戦作戰を變轉して外線作戰とする
- 2、敵人の後方を前方に變成し敵軍の後方を我軍の前進とする
- 3、主動を爭取して敵人を支配し、必ず作戰と併行的に施す

これか被動中主動を爭取する所の三原則である

(七) 敵人の分進と合撃を發覺したら努めて迅速に彼等の合撃點から

1450

敵初我軍は連環して打たすに手榴彈を亂投したか後には組織あり計劃ある打撃して効果を擧げた我等は車の機關部を打つばかりでなく、運轉手を撃ち且つ車體を撃つた此の方面で我等は頗る多くの経験を待つてゐる

(八) 敵人の壕溝點進攻と敵人伏撃の経験に據れば須らく初めて敵人の増援を豫想し配置上増援方面に對しては警戒を拂ひ適當なる警戒部隊を配置し多くの小部隊を配合せねばならぬ

(九) 戦闘中に於て敵人と正面戦闘を形成してはならぬ敵人の火力は我等に比し強く射撃技能は我等に比して高いから、かくにもし正面戦闘を形成しなければ大なる損傷を受けはならないであるから努めてこれを避けて伏撃し敵人の火力をして展開を不能ならしめねばならぬ、若し正面戦闘を形成したならば我軍は須く自己の火力の正面に於て敵人を制扼し主力の真側攻撃轉向を確護し或は主力

155

1450

内 作戰の多くの経験から言へば廣大なる民衆の擁護を取得してゐても然し漢奸に對する注意と諒解や封鎖消息に對して注意せねばならぬ遊撃戦が秘密を必要とする目標を暴露してはならぬのであるから封鎖消息に對しては秘密を保守し充分に注意して常に地區と宿營地を移轉して我等の秘密を保守せねばならぬこれは皆我が作戰から得た経験である。

外
務
省

CH 本標準規格 B5

IMT 289.

154

0118

154

1450

内 脱し包圍圖から敵人の側後に廻つて敵人の一方を打撃すべきである
内 敵人が攻撃したら敵人を襲撃し或は伏撃し極力敵人殲滅の手段を講じて彼等の意志を動搖し彼等の恐懼心を造成すべきである
内 敵人の襲撃に當つては一面敵人の襲撃を注意し同時に敵人を襲撃した後敵人の反襲撃を防備すべきである
内 我等と敵人が正面作戰を形成した時は須らく正に全力を盡くして火力の威力を發揮せねばならぬ但し機銃發射後は注意して繼續して陣地を移轉せねばならぬ然らざれば敵の火力集中に逢はねばならぬ
内 我等は行軍或は宿營に論なく須らくこれらを秘密にせねばならぬ常に大小の道を明らかに吞み込んで不測を豫防し如何なる時に於ても規定以外の處置辦法を定めて敵との接觸が發生しても混亂を來さない様にせねばならぬ

外
務
省

CH 本標準規格 B5

IMT 289.

153

0117

157

1450

(三) 遊撃戦を以て運動戦に配合し新段階中に於ける重要な作戦手段となす

(四) 長期の戦闘を経過して相持の局面より最後の決戦に到達する

第三建軍はこれ抗戦勝利を爭取する基本である

(一) 委員長は建國建軍は抗戦制勝の基本であると指出すると同時に南嶽會議(漢口陷落直後湖南省南嶽に於て開いた會議)に於て建國には必らず建軍を先にすべきことを指出した

故に建軍と抗戦勝利はこれ分離であり最後の勝利は必らず建軍を必要とし必らず新たな國防軍を建設するを要する若し假りに建軍を先にしなかつたならば新式の國防軍はないのでありその結果我等は抗戦最後の勝利を保證することか出来ないと同時に新たな段階の任務を執行することか出来ないとあるから建軍は軍隊の持久戦争中に於て要求されるのであるこの種の「堅毅不拔持久奮闘」の精神を言ふことは只かかる戦闘力を具有する軍隊があつてのみ

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

156

0120

156

1450

第四部分 第二期抗戦と建軍の關係

第一、敵人の第二期に於ける政策と企圖 此の問題に關して自分は敵人の各期作戦方針中に於て既にこれを説明したこの一項は具體的にこれを要約して指出したものである

(一) 軍事戦より轉じて建設戦をなす

(二) 軍事上進攻の中心は漸く正面攻撃より後方の遊撃區進攻に轉した

(三) 軍事中心から政治中心に轉し經濟的掠奪を手段とし目的となす

(四) 中國の物力、人力、財力を奪取し以て彼等の困難を解決し戦争を繼續してゐる

第二、第二期抗戦の特點

(一) 遊撃區と遊撃戦争を新段階中の敗を轉じて勝となし弱を轉じて強とする所の焦點とするこれは財を轉じて勝となし弱を轉じて強となす鍵であると言ふことか出来る

(二) 政治的經濟的戦闘を戦争の骨幹となす

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

155

0119

159

1450

量を強加せねばならぬ
故に建軍は抗戦最後の勝利を爭取せねばならぬ建軍工作の完成を
説くことは抗戦勝利に對して決定的な作用を有するものである抗
戦最後の勝利を爭取するためには最初に建軍を必要とするのであ
る

第五部分 建軍工作の本軍に對する重要性

第一、新段階の任務を根據とすれば、本軍に對する要求は戦闘と戦
略戦術の改善に餘なく、獨らく一つの新たな進展かなければならぬ
新段階と江南の條件中に於てはこれは一種特別の巨大なる苦闘であ
る我軍の任務に至つては自分かそこに重ねて説くまでもないか自分
が政治工作會議中に提出したものを讀み上げてみやり

(一) 整個抗戦の新たな段階の一切の任務は最高領袖蔣委員長の領導
下に於て江南の抗戦を堅持して積極的に全國に配合し敵人を進攻
し敵人を消耗し敵の進攻を停止して整個の相持段階をしてよく勝

外務省

（日本標準規格B5）
IMT 289.

158

0122

158

1450

初めてよく長期の戦争を進行する事か出来るのである
(二) 最後の勝利を爭取するためには弱を轉して強となし財を轉して勝
となすことか必要でありそれには初めに我軍隊の強大か要求され
る軍隊の戦闘力は必ず敵人に優り最抵抗敵人と同等であつて初め
てよく守を轉して攻となし財を轉して勝となし得るのである
故に建軍か最初のものである

(三) 未だ相持の段階の局面に到達し得ない以前に於ける主要なものは
次の如きものである

即ち更に大なる消耗を敵人に與へ敵人を削弱し而して自己を強大
となし以て相持の局面到來を爭取することである故に最も廣汎に
遊撃戦争を發展して大規模に運動戦に配合し更に大なる打撃を敵
人に與へて敵人の力量を消耗することである我等か將來の反攻を
準備するためには現在の正規軍をして近代化せしめると共に且つ
頗る多くの遊撃兵團と遊撃隊を正規軍に達到せしめ反攻の決戦力

外務省

（日本標準規格B5）
IMT 289.

157

0121



1450

- 強し以て日本帝國主義の各種の挑撥と謠言を打破する
- 5、大刀會、青幫、及、土匪に對する抗戰宣傳を強加して彼等を堅決に抗戰陣の側にとり日本帝國主義に反對し日本帝國主義に利用するところならしめる
 - 6、國民政府の元且に發布せる懲治漢奸條例に照らして漢奸及甘心附逆の分子に對して最も嚴重なる打撃と消滅を與へる但し我等は頻らく生活壓力のために一時的に誤つたこれらの分子を爭取して更生を與へ抗戰に参加せしめて日本帝國主義の力量を削弱する
 - 7、敵の偽政權を破壊し國民政府の全國統一を擁護し極力戰區政府の幫助して政府と民衆の一致に到達し軍隊と政府とが一致して日本帝國主義に反對する
 - 8、政府と民衆との團結を協助し計劃を以て一面に於て自給經濟を建立して以て長期抗戰中の民衆生活を解決し一面に於て日軍

0124

1450

- 利に到達するための反攻に轉入せしめるにある之れは我軍の總任務であり我軍の總方針である
- (二)この總任務、この總方針を實現するための我軍當面の中心任務は政治上に於ては
- 1、民衆中に於ける政治宣傳と教育を百倍強化し江南民衆の民族意識、民族覺悟と抗戰の信心を提高し千百萬の民衆を團結して江南の抗戰を堅持する
 - 2、團結禦侮、相互幫助、相互讓歩、精神を用ひて抗日民族統一戰綫を強化擴大し一切の力量を團結して日本帝國主義をして孤立に陥らしめる
 - 3、全力を盡して間斷なく日本帝國主義の一切の欺瞞狡計を暴露して之れを失敗せしめる
 - 4、全國の抗戰勝利の形勢と意義、蔣委員長の訓話、國民政府の法令等を江南民衆間に廣大に宣傳説明して彼等の抗戰意志を堅

0123

打撃し敵人を消耗する

5、積極的に友軍との協同動作を取得し、遂に於て敵人に打撃を遭受せしめ、敵人をして我等協同の動作の下に於て恐慌を來さしめ、戦闘意志を喪失せしめて、敵人消滅に便ならしめる

これは軍事上に於て、敵人を消耗し、敵人を削弱し、敵人を威脅し、敵人をして進攻を停止せざるを得ならしめ、進攻より轉じて防禦せざるを得ならしめ、以て彼我を相持に到らしめて、我等反攻の力量を準備する所のものである。作戦の要求を根據として、我軍が戦闘上に於てよく所説の要求に到達せねばならぬものは、我軍の建軍である。只建軍があつてのみ初めてよく我軍の力量は、堅強し得而して、よく新段階中であつてその任務を完成し得るのである

第三、本軍は新たな段階の任務を完成するはかりては、なく將來反攻する時には、反攻の主力となるものである。言を換へて言ふならば、最も堅強にして最も進歩的な國防軍となるのである。であるから建

CH 本標準規格 B5)

IMT 289.

162

0126

に對する經濟封鎖を實行して、敵貨をして販賣消費する法なからしめ、我等の資源をして、敵人に利用せしめない様にする

9、敵軍に對する工作を強加し、敵人が近來大々的に組織してゐる偽軍に對して、我等は敵偽軍工作を並重し、政治的にこれを瓦解し、敵人の力量を削弱して、戦闘による敵人消滅に便ならしめる

(三) 軍事上から言へば次の如くである

1、現有の地方武装を、堅強し、軍事上に於て、彼等の戦闘力を、提高するのみならず、且つ政治上に於て、彼等の部隊を強化し、よく獨立して、原有地區にあつて、抗戦を堅持し得る様にする

2、廣大なる民衆の武装組織を、建立し、群衆の遊撃戦争を展開する

3、最も廣汎にして、最も靈活なる遊撃戦を、運動戦に配合し、更に有効的に、敵人を消滅し、敵人の力量を消滅する

4、最も堅決にして、最も敏捷に、敵人の偽軍、綏靖隊を消滅して、敵人の力量を削弱し、以てこれを孤立に陥らしめ、我等が直接に、敵人を

CH 本標準規格 B5)

IMT 289.

161

0125

165

1450

我軍は七八省の地區から十幾個の大なる單位と幾十個の小なる單位が集合して起來たものであつて、軍隊が集中されてから以後に我軍は初めて建設を進行した、この種の建設成績は建軍工作の基礎を確立したから然し戦争の環境から更に大なる力量を以て建設を進行する事が出来たところの成績と今後の建軍要求との差違は頗る大である假りに若し建設が完成してゐると考へるならばそれは建軍の意義と我軍に對する重要性和今後に於ける發展と勝利の決定的な意義とを了解し得ないものである今次參謀會議の主要なる任務は即ち之れを討論研究して如何に建軍を進行するかと言ふ方案と具體辦法を實施するかと言ふことにあるのであつて二七、政工會議は精神的建設である建軍は初めに先づ精神的建設が必要であり精神的建設は我軍の組織上に建設的成功を保證するものである

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

164

0128

164

1450

軍工作は更に迅速に進行する必要がある
第三、十ヶ月の作戰經驗に據れば我軍は頗る多くの勝利を獲得し敵人に頗る大なる打撃を與へたのであるか目前の第三期作戰に於て敵人は更に大なる力量を集中し軍事上に於ては大掛りな長期進攻を行つて我軍の消滅を企圖してゐるこの故に敵人の新たなる進攻を撃破して日軍に戦勝し以て相持の局面到來を求達するには目前の新たなる作戰要求に適應し更に我軍の一步を進めた建軍工作が要求されるのである
第四、我軍が更に大にして繼續する所の不斷の勝利を取得するためには敵人の大なる消耗を要するはかりてなく且つ更に大なる敵人の殲滅が必要であるこの故に我軍の戦闘力は大々的に提高され連撃戦は運動戦となることか必要なのであり建軍工作の必要が要求されるのである
第五、我軍一年以來の建設工作は僅かにこれ建軍工作の初歩である

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

163

0127

167

1450

第六部分 本軍建軍の基本要求

第一、建軍の基本的要求とはどんなものでありどんな軍が必要であるか

(一) 要求されるものは当面の作戦に適合しまた将来の発展に注意したものであることか必要である建った軍隊か目前の任務を執行出来なかつたり若し只現実のみに捕はれて将来を顧みなかつたならば反攻主力の一となることは不可能であり最も有力な国防軍となることは出来ない此の兩方面に於て我軍は須らく、どんな軍隊を建立しなければならぬか決定される

(二) 必ず本軍が現在有してゐる物質的條件裝備に照らして将来裝備を充實するに便ならしめねばならぬ、例へば現在の建軍は将来の要求を根據としたものである換言すれば即ち近代化した裝備を持つ軍隊であるこれは空語ではない現在の兵種は只一種のみであるのに砲兵騎兵の建立を談することは之れ空語である只現有の兵器と裝備に照してのみ軍隊を正規軍となし得るのでありまた敵人の武器を奪取して自己を武裝してのみ正規軍となし得るのである然し學識上指揮上に於てはよく現代の戰術を了解接追し現代の戰術を學習し現代の技術を使用して將來に於ける近代化に便ならしめねばならぬ

(三) 建軍中に於てよく我軍が遊撃戰の特長を發揚しよく大規模の運動戰を進行することはこれは初步的な要求であつて我等が提出する口號と目標はこれ遊撃戰より發展して正規戰に至るもの遊撃戰と運動戰を配合するものである現在は遊撃戰を用ひて更に大いに敵人を消耗し運動戰を用ひて更に大いに敵人を殲滅することである我等建軍の中心は必ず事實の要求に配合せねばならぬ然らざれば建軍は即ち空想に變成するのである

第二、建軍は如何なる條件、原則、方針を根據とするか

(一) 南嶽會議を根據とし、蔣委員長の訓示を我軍建軍の總方針とする

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

166

0130

166

1450

第六部分 本軍建軍の基本要求

第一、建軍の基本的要求とはどんなものでありどんな軍が必要であるか

(一) 要求されるものは当面の作戦に適合しまた将来の発展に注意したものであることか必要である建った軍隊か目前の任務を執行出来なかつたり若し只現実のみに捕はれて将来を顧みなかつたならば反攻主力の一となることは不可能であり最も有力な国防軍となることは出来ない此の兩方面に於て我軍は須らく、どんな軍隊を建立しなければならぬか決定される

(二) 必ず本軍が現在有してゐる物質的條件裝備に照らして将来裝備を充實するに便ならしめねばならぬ、例へば現在の建軍は将来の要求を根據としたものである換言すれば即ち近代化した裝備を持つ軍隊であるこれは空語ではない現在の兵種は只一種のみであるのに砲兵騎兵の建立を談することは之れ空語である只現有の兵器と

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

165

0129

169

1450

中國には現在その模範とすべき型がなく全世界にも適合し模倣すべきものがないから一つも模型を想像する事か出来ないのて起革すへき方策は以後不斷に充實し改修することか必要であるから建設するのみならず、建設中に創造することか必要である故に一面建設、一面創造である

(一) 一切を戦争勝利のために我等の建設精神と目的はつまり戦争するためであり戦争勝利のためである編成上、教育上のみならず各方面で如何にしてよく勝ち敵人を消滅するかにある斯くの如き精神を根據として我等は建軍を進行するのである

第四、我等か建軍に達すべき目標

上記それらの要求それらの基本的な條件を根據としてそれらの精神を用ひて如何なる目的に到達するか

(一) 精兵の必要によつて我軍をよく精(一人か二人分となり一弾か二弾分となる)ならしめねばならぬ眞に精であり弾大であると言ふ

外務省

(日本標準規格 B5)

IMT 289.

168

0132

168

1450

(一) 本軍固有の優良なる傳統と特長を保持發揚する例へは十大優良傳統遊撃特長の如きである

(二) 十ヶ月作戦の經驗と教訓を根據とすれば敵人の特長、敵人の戦術、敵人の武器配備敵人の弱點、我軍の長所と弱點とを双方對比し研究して部隊の編制、教育上、指揮上、戦術上、戦闘の動作上に於て如何なる必要があるか斯くの如くして建軍の方案建軍の具體的内容と辦法が規定されるのである

第三、如何なる精神を用ひて建軍するか自分は三つの口號を提出する

(一) 一面作戦、一面建軍、現在戦争せずして先づ建軍すると言ふことは不可能であり正しくない、我等は現在多くの建軍をなすと言ふことは出来ないのてあるから須らく一面建軍して一面に於て戦争し一面に於て戦争して一面に於て建軍するのである

(二) 一面建設、一面創造、我等か建設すべき一個の進歩した正規軍は

外務省

(日本標準規格 B5)

IMT 289.

167

0131

171

1450

き組織性を持つ軍隊であると言ふ事こそ初めて正規軍の條件に符合するのである

(二) 科學的な規律と頗る嚴密な生活と行動を持たねばならぬ、かかる生活と行動があつてこそ初めてよく一個の正規軍となり得るのである

(三) 科學的な原則に照らして精密なる分業的工作を進行し而してよく一體となつて協同し得ることか必要である斯くの如くしてこそ初めて一個の正規軍となるのである

(四) 嚴密なる軍事紀律を要する

(五) 軍隊は必ず嚴格なる軍事訓練と教育を経る必要がある所謂嚴格なる軍事訓練と教育とは正規の訓練と教育の事である

(六) 必要なる裝備を持つ事か必要である所謂正規軍には正規の裝備を必要とする若し皆か棍棒を持つてゐたのたすれば正規軍となることは出来ない

外務省

(日本標準規格 B5)

IMT 289.

170

0134

170

1450

ことは第一に強か必要であつて第二に初めて大であると言ふことである所謂精にして強大であると言ふことか即ち最も堅強なる戰鬥力を持つと言ふことになるのである

(二) 此の種の軍隊を分散して遊撃戦を行ひ集合して運動戦を敢行する

(三) 即ち部隊は一切の建設上、精神上、作風上に於て正規軍の軍隊として一切の正規の方法を採取する必要がある例へば政治上に於ては最も進歩した思想の領導を必要とし組織上、工作方法上に於ては最も科學的な方法を採取し一切の作風上の工作に於ては人家の長所を集合する、これらは我軍を最も進歩した正規の軍隊とするのである

第七部分 正規化のため幾つかの基本條件

如何に正規化するかには必要條件かなければならぬ之等の條件は政治を除いた外、軍事に就て言ふならば

(一) 本軍の組織は必ず嚴密にして系統あることか必要である斯くの如

外務省

(日本標準規格 B5)

IMT 289.

169

0133

ありこれは新たな任務が要求する所のものである

(二)委員長が南嶽會議に於て抗戰工作中に於て指示した所の「三、四五六七八」各項を特に注意すべきである

(三)一切の組織は實際上に必要であるべきであつて、名義を重せず、各機關、部門は重ねて新たに検査し切實に各種人員の能力を考察してその實を盡さしめ、その實に符合せしめる事が必要である

(四)編成上、裝備上に於ては須らく戰團單位を充實しなければならぬ我等の戰團單位が充實してこそ初めて戰團力が充實するのである

(五)敵人の編成と裝備及作戰の要求と我軍現有の實際力量と裝備とを参照して編成裝備を決定すべきである自分か提出することの五つの原則は我軍の編成と武器の配備を確定するものである

第二、管理の原則

一、管理上に於て我等が優良なる管理原則の根據とすべきものは次の如くである

(六)頗る多くの幹部を要する科學的知識があつて初めて近代的技術か了解出來可能の條件の下に近代裝備を實行することか出來る若し科學的知識がなかつたならば現代的武器があつても之れを使用する事か出來ない

(七)必要なる軍事教育と戰術の修養ある指揮幹部が必要である頗る良き幹部がなければ即ち其の他の條件が具備してゐても正規軍の任務を執行する事は出來ない我等が正規軍を建設するためには必ず上述の幾つかの條件を具備しなければならぬのである

第八部分 建軍工作に關する具體的實施原則

第一、編成と裝備の原則

部隊は如何に編成し如何に裝備するか

(一)委員長の指示を根據とすれば「編成と裝備は皆簡單にして機動と實用に注意か與へられねばならぬ」、我軍の編成、裝備は、必ず簡單にして機動に便てあらねばならぬ之れは建軍のための要求である

175

1450

り秩序ある行動と生活が必要である。今回は内務実施の細則を規定し、部隊はこれらの規則を根拠として教育されるべきである。これらの條例の實行こそ規則あり規律ある生活と行動を軍隊になさしめ得るものである。

四、生活は簡單、素樸、清潔、緊張を要すると同時に活潑嚴肅を必要とする。活潑は一種の組織あり而して秩序ある動作である。一種の嚴肅にして活潑なる生活は即ち部隊の創造性、機動性、積極性を發揚する所謂、素樸は衣服に於て良質を好まず只清潔整育のみを求めるものである。我軍の物質條件は中央軍に比すれば劣つてゐるが然し可能なる限りの現有條件を盡くして整育されねばならぬ。

第三、教育と訓練の原則

一、嚴格なる軍事訓練の實施、嚴格なる軍事生活の養成が必要である。軍事行動に於て各個の士兵よく現有の武器を使用し且つ正確に使用したならば將に全軍の軍事技能の水平線は提高するであらう。

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

174

0138

174

1450

(一) 主要なものは教育であつて教育方法を用ひ各指戰員の自己の職責を諒解せしめ各種の規律を感得せしめる

(二) 一種の團體生活、團體行動、團體の習慣を養成して團體を形成し組織あり秩序ある生活と習慣をもつて之れを自動的に遵守せしめる事を一切の管理上の原則とす

(三) 士兵群衆を保障し士兵群衆を監督することによつて管理の實現に達する

(四) 教育説服の方法を用ひて管理に服従しないものを糾正し、規則を守らない行動を管理するこの種の原則、この種の精神を根拠として軍隊の管理法を制定する事が必要である

今次會議は須く管理法草案の規定をなすべきである

二、管理を順調に進行するためには必ず部隊の規律、部隊の組織系統を保持遵守すべきである。換言すれば一層管理を進行すべきである

三、一種の規則あり規律ある行動と生活を養成するには即ち組織あ

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

173

0137

居るべきである、即ち第一には步兵操典、第二には指揮綱要、第三には陣中勤務令等である我等が諒解してゐないものは深く研究せねばならないと同時に我が遊撃戦術に對しても過去の経験を整理して系統ある原則を制定し不斷に作戦中に於て創造を發揮せねばならぬ

五、新兵教育制度の規定としては新兵は最低ある期間の新兵教育を経て各個の戦闘動作がよくなし得るものでなければならぬ

六、教育訓練は原則上に於て戦闘部隊が規定する作戦中に於て極力作戦を妨げず當時の状況下に違背せず空間時間を利用して補助教育をなすべきであり同時に相當時間を規定して各部隊を流轉せしめ比較的後方の地區に於て整訓を進行すべきである

七、我等の幹部を重ねて教育し大量的に幹部を培養する

八、各支隊に軍事教育隊を設立し主として班長排長を培養する移動訓練によつて既にある班長と新たな班長を培養する

(日本標準規格 B5)

IMT 289.

176

0140

二、軍事常識上に於ては一般的によく現代の武器を諒解すべきであつて如何なる武器であり如何に使用するかか少しも、解つてゐたならば敵と作戦して名を知らぬ武器を見ても恐慌に至ることはない

三、各個の士兵は一切の戦闘動作に熟練してゐることか必要である

四、各個指揮員は戦術的頭腦を養成する必要があり高遠なる軍事學識を持たねばならぬし

一、各種の軍事技術に對しては須らく深き認識あり性能を感得し作戦時に於ては正確に各種の武器を指揮せねばならぬ

二、指揮法巧妙なる指揮、藝術を學習すべきである

三、須らく廣く靈活に戦術を運用すべきであつてよき軍事幹部の最低の要求は須らく新式の武器を了解し、戦術と戦術の基本概則、指揮法を熟習してこそ初めて一個の指揮員と言ふべきであつてそうでなかつたならば指揮として配すべきではない即ち各指揮員の軍事學識は深奥でなくとも最低限度何冊かの普通軍事書を研究して

(日本標準規格 B5)

IMT 289.

175

0139

179

1450

九、精神上、生活上の教育に於て注意を要する諸項

八、教育に關する原則

七、幾ヶ月か連長、營長を勤めて再び歸つて高級班の訓練を受け
るかやうにして幹部の質量を提高する

六、我軍現有の軍事幹部は計劃的に抽出され教導隊に入つて學習し皆
一面訓練を受ける必要がある

五、我軍の所有する長所、優良なる傳統と作風及戰闘中に於て創造し
た新たな特長を發揮し教育上に於て再び之れを發揮する

四、理論を以て基礎となし、實用を以て目的となす、これは即ち理論
と實際を連繫するものである理論を學習し彼等の基礎を造成する
には實際の提高から原則に至り實際の戰闘を以て戰術の原則を了

三、學ぶこととすることを一致させる、此の原則は學ぶこととなるこ
とを連繫する事である學んでしない事は、なすを得ない事であり、
また行つても明瞭になすを得ないことと同様である

二、少しても、より多く精密である事が必要である、精密と言ふ事は
その少しの精密はかりてはなく益々他の精密をも必要とするので
ある

一、専門技術は博學よりも重い我軍の教育は須らく注意して各種工作
の専門技能を發揚すへきてある軍事幹部が學習し熟習する必要な
ものは一切軍事學識と技能である政治幹部が學習する主要なものは
政治工作の理論と方法である

我等の教育は原則上に於て一種の團體生活團體の精神、團體の習
慣、團體の動作等を養成することである

外務省

日本標準規格B5

IMT 289

178

0142

178

1450

二、軍教導隊は主として排長以上の幹部、連長、營長、高一級の幹部
を培養する

三、教官に三級制を用ふる例へは我等の班排長は軍事隊の訓練を経て
服務した後再び軍部に至つて受訓し、卒業後は前方に赴いて作戰
し、幾ヶ月か連長、營長を勤めて再び歸つて高級班の訓練を受け
るかやうにして幹部の質量を提高する

四、我軍現有の軍事幹部は計劃的に抽出され教導隊に入つて學習し皆
一面訓練を受ける必要がある

八、教育に關する原則

一、我軍の所有する長所、優良なる傳統と作風及戰闘中に於て創造し
た新たな特長を發揮し教育上に於て再び之れを發揮する

二、理論を以て基礎となし、實用を以て目的となす、これは即ち理論
と實際を連繫するものである理論を學習し彼等の基礎を造成する
には實際の提高から原則に至り實際の戰闘を以て戰術の原則を了

外務省

日本標準規格B5

IMT 289

177

0141

187

1450

これは軍事に關するものである政治的紀律は我等をして内には則ち、團結、友愛、和衷、共濟せしめ外には即ち廣大なる群衆の擁護と幫助とを取得するものであり軍事紀律は戰鬪の勝利に關するものである我等は政治紀律は良好であると言ふことか出来るか軍事紀律に於ては嚴とすへきてある軍事紀律が良好でないことは戰勝し得ないことである戰勝するためには必ず嚴格なる軍事紀律を必要とするのである此の會議に於ては軍事紀律の實施紀律を規定する必要がある第五、指揮機關の健全及如何にして我軍の指揮機關を建立するか一、原則上指揮機關の健全と建立は正に靈活機巧、短小精悍でなければならぬ

二、各部門は科學的分工合作に照らして特に作戰の要求に適合し各個部門の組織と編成を規定せねばならぬ

三、各個部門の職權、工作範圍、工作の規律及各部門工作上の相互關係を規定して科學的な分工に到達し協同一體とならねばならぬ、よつて今會議に於て我等は須らく軍事工作の組織細則に關し軍事工作の規律を規定せねばならぬ

外務省

日本標準規格B5

IMT 289.

180

0144

180

1450

1 政治的な頭腦を持つ様養成する進歩的な思想堅定せる意志、果敢なる精神及我軍の優良なる十大傳統の保持

2 須らく我軍の優良なる傳統を保持發揚し一切の良きものを發揚し、一切の不良なるものを排斥し政治、教育上、生活上に於てこの種の精神を以て教育を進行せねばならぬ我軍の優良なる傳統の發揚と保持のためには保持と發揚はかりてあつたならは不良なる習氣も保持されてよい處と悪い所とか明らかたなくなるのである之れは教育と訓練に關する原則である

第四、政治紀律の鞏固、軍事紀律の嚴守が必要である

本軍の政治紀律は頗る良好である之れは我軍の優良なる傳統であつて政治紀律の良好なる事によつて廣大なる民衆の擁護を取得したのであり、現在でもこの鞏固な事は人に破壞されることは許容し得ないものである軍事紀律は之れに劣つてゐる之れは許多の同志が政治紀律と軍事紀律との區別が明瞭でないからである、例へば我軍の三大紀律、十項の注意は主として政治の八大要求時に關してゐるか之

外務省

日本標準規格B5

IMT 289.

179

0143

戦術の轉變と主動の爭取は皆強堅である現在我等は力を以て戦ふはかりてなく、智を以ても戦はねはならぬ現在各個の部隊は獨立作戰を要するのみならず且つ一個の地區内に於ける各部隊はよく動作を配合し一致協同しなければならぬ

これは皆各部參謀處の工作与努力によつてこそ初めてよく戦闘の指揮、戦役の指揮が實施し得るのである故に健全なる參謀工作かなければ作戰の勝利は保証することか出來ないのである

我軍の各個の單位は各個の區域と頗る良好なる連繫が必要である行動配合の主要なるものは各種通信機材である敵人には頗る良好なる通信工具があり、よく随時に相互に策應し適時に協同動作してゐる我軍は通信機材が少いのみならず遊撃戰の必要なる條件下に各自戰ふために敵人に各個擊破を喰ひ易いのである只通信聯絡が順長であつてのみ初めて協同一致が保證されるのである參謀工作の一つは既に所有する通信機材を利用し可能なる方法を以て順

第六、參謀工作

一、參謀工作は之れ指揮機關の首腦であつて指揮の任務を負ふものである換言すれば即ち勝利を保證する工作である初めに先づ參謀工作の現作戰中に於ける重要性から説明しやう我軍は江南に於て作戰し戰略戰術上の指導に對しては靈活に施行することか必要である健全なる參謀工作かなければ常に各種の材料を収集し研究して首長の研究に供給することか出來ず更に、その時、その時の敵人の戦術と作戰方針の變轉、敵人の弱點と時點に注意することか出來ず只敵人が新たなる辦法を久しく使用してから初めて感じ得ることとなるのである。斯くしては自然に我軍はその時に於て主動を爭取し以て戰略上の機動、戦術上の轉變を決定し先づ人を制し先機の利を戰得する事は出來なくなる、之等は皆參謀工作の重要な事を説明してゐる敵人は近代の裝備、近代の組織、近代化の戦術を持つてゐるか故に組織は嚴密であり行動は靈活であり戰略

185

1450

「ている」と考へる
昨年六月自分は「参謀工作の重要性を輕視する事に反對する」と問題を提出した。然し全軍の指戦員は皆此の意義を理解しなかつた。若し我等が此の工作の重要なことを認識したならば自然に決心を持ち、計劃を持つて参謀人材を培養し教育して多くの参謀人材を養成し得、参謀工作は健全となつたであらう。参謀人材と、その本領は自然に生れ出るものでなく學ぶ事によつて爲すことに上つて兩方面の鍛練によつて生れるものであり不明瞭から學んで爲すを得爲して靈活に爲すを得るやうになるのである。今日日軍と作戰するに健全なる参謀工作がなければ日軍より進歩した軍隊になることは出来ないのである。
各個の指揮員が明らかた認識を持たずして参謀工作を重視しなかつたならば進歩した指揮員となることは出来ないのである。かかる指揮員は、これ古き指揮員であり、古き遊撃隊の指揮員であつ

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

184

0148

184

1450

利にして迅速なる通信工作を組織して以て今日の對日作戰の要求に適應せねばならぬ偵察工作か、なかつたならばその時、その時に於て敵人の一舉一動が了解し得ず正確なる敵人の企圖が判斷し得ないので我軍の行動を決定し至動を求得して攻むにもその備へを得ることか出来ないのである。現在迄は僅かに戰闘偵察があるのみで、戰略戰役の偵察がないので必然的に戰略戰術の機動と變轉に影響してゐる。現在日軍の進行する遊撃戰爭は過去戰爭とは違つて居り堅強なる参謀工作か、なくては即ち適時に戰闘を組織し、戰役を指導し、戰略の集中的指揮と戰術の獨立行動を展開する所の原則に到達することは出来ないのである。これかなければ遊撃戰の威力を發揮して日軍を打撃することは出来ない。
「我軍の参謀工作の不健全について多くの人は皆人かといひ或は人か少いといつてゐるか自分はこれか主要な原因ではなくして主要なるものは一人々か参謀工作に對して認識と注意か缺乏し

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

183

0147

REEL No. A-0243

0000

アジア歴史資料センター

187

1450

參謀の職責は作戰と大なる問題に對して只意見を提出し首長に對して供獻し首長か、それを決定するのである。然し命令の執行軍隊の制度、規律、司令部の日常工作に關しては參謀長が監督指導と直接の指揮權を荷ふものである。何者か、我軍の制度規律を破壊し何者か、故意に命令に違反したならば我等は須らく首長に向つて報告し上級に報告すへきてあり。若し首長が漏成と規則を破壊し參謀長の第一講を導かず又第二講をも導かなかつたならばそれは上級に向つて自己かそれに附隨し得ないことを報告すへきてある。故に參謀長は首長に替つて技術工作をなすものではないのである。須らく參謀長と首長の各個の職權と關係を規定せねばならぬことは重要なことであつて最後に決定するものは首長である。然し經常の工作と命令の執行監督は參謀長に一定の職權かなければならぬ。いそうてなければ參謀長は一個の傳送に變成し只之れは上に傳へ

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289. 186

0150

186

1450

て近代的な指導員ではないのである。故に我等は須らく參謀人材の培養と訓練に努力して今日對日作戰に必要とする所に適合せねばならぬ。他の一方面でも若し健全なる參謀工作かなかつたならば建軍工作の進行は頗る危殆に傾するのである。例へば編成、訓練、教育、管理、之れ等の一切は盡く之參謀工作の責任である。故に建軍工作の順利な進行と順利な完成を保證するためには初めに先づ健全なる參謀工作が必要なのである。からこそ、これらをなすためには須らく參謀人員の地位を提高せねばならない。過去に於て或る人々は參謀となることを願はず一個の參謀團長營長に過ぎなかつた。最も兵を掌握するものは總てこれ一個の首長であつた。爲參謀工作は注意されなかつたので多くの人は參謀となることを慾しなかつた。かかる認識なき現在の條件下に於ける參謀工作の重要性、參謀工作の地位は目前我等が政治上より須らく參謀の地位を提高すると同時に參謀の權限を規定し誤りを糾正せねばならない。

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289. 185

0149

189

1450

四我等一切の後方勤務機關、軍需、兵站、軍醫等之等の部門は科學的分工に依るのみならず必ず規則を持ち、一切の戦争の要求に適合するべきである。若し戦争の要求に上らず戦争の必要を離脱してゐたならばそれは完全に自己の工作与整個の戦争に對する任務をなし得ないと同様である故に一切の後方の勤務工作は前方に適合するを要し前方の作戰に適合するを必要とするも、てあり前方勝利のために努力する事を必要とするのである之は一切の後方勤務工作の原則である我等の過去は此の原則に對して誤りかあつた過去の許多の後方勤務部門は如何に後方勤務機關が健全であるかと言ふことに對して注意が少かつたこれは直ちに改正すべきであるこの問題に關しては軍事工作の細則上に明確に規定かなければならぬ、如何に後方の勤務各部門をして他の工作と作戰に配合せしめるかは參謀長か指揮と督励の責任を負はねばならぬ所であり作戰科はまた作戰要求を把握して責任を以て指導と調節をし

外務省

日本標準規格 B5
IMT 289.

188

0152

189

1450

下に送るのみとなるのであるこれらを規定することは參謀工作の建立と參謀の地位提高に關して連帶した關係があるのである
三參謀工作の同志は學習に努力すべきであつて我等は參謀の同志が政治書等を讀むことを喜ぶものであり政治は我等の基本であるか、然し工作の技術でなくては主要なものは軍事書を讀んで參謀の本領を學習することなのである基本的には必ず戰術的頭腦を持つて戰術に對して研究をなし軍事學識を持つて參謀技能に長し一個の名實備つた參謀となることである參謀工作の健全のためには先づ初めに彼等の政治地位を提高すべきでありまた同時に更に參謀同志に對して努力して參謀工作の本領を提高することを要求すべきである只提高あり質重あつてのみ參謀工作は初めてよく速かに健全となり得るのである參謀工作に對しては須らく一個の工作細則を規定し多くの人々をしてその本領を明瞭に學習せしめ、それ等をなさしむべきである

外務省

日本標準規格 B5
IMT 289.

187

0151

190

1450

なければならぬのである

第七、工作、作法の創造と發揮は建軍の一つの必要なる條件である我等は對日戦争の正規化に適合する必要があり新たな作法に關して自分は次の六點を提出する

一、工作には計劃性、堅持性、徹底性を持つ必要がある

二、堅強の精神が必要である

三、多くを語らず多をなす所の苦幹の精神が必要である

四、實地を脚踏する實際精神が必要である

五、一人、一人が責任を負ふ所の制度

六、敏捷、迅速なる工作とその効果が必要である

軍事工作員、政治工作員其他専門工作員に論なく盡くかかる一つの作風かなければならぬ

第八、革命軍人精神の發揮

我軍には軍事政治工作員に論なく革命者としての條件は頗る整つ

(日本標準規格B5)

IMT 289.

189

0153

外務省

1450

てあるが然し軍人としての資格は之れに比して劣つて居り華奢な様子をして武人の氣概に缺けてゐる軍人は雄々しく元氣でなければならぬ自分は革命軍人の精神は斯くあらねばならぬと考へるものである

一、政治的頭腦を要することを必要とする

二、政治的操守あることを必要とする

三、公を奉して法を守ることを必要とする

四、命令に服従する

五、自己の事業に忠實なること

六、果敢な決心

七、勇敢犠牲の精神

八、堅持性、頑強性、あることを必要とする

九、禮節を講し嚴肅であつて一人の説に盲従しない事

一〇、和氣藹々謙虚なる態度のあるを必要とする

(日本標準規格B5)

IMT 289.

190

0154

外務省

193

1450

第九部分 如何に我等は建軍の任務を完成するか第一、我等が建軍
工作を完成するためには初めに先づ政治上から動員して全軍中の各
指戦員工作人をして我等建軍の主要なるものを了解せしめねはな
らぬ如何に建軍し如何に積極的に建軍を擁護し、自己の實際的な行
動を以て建軍工作を完成せねはならないかと言ふことを認識させる
に僅かに此の建軍會議が全軍に對して進召するばかりでなく政治
部が經常の政治工作として政治動員の基本的工作の一とせねはなら
ないのである

第二、我等が建軍の成功に到達するためには必ず遊撃主義の習氣を
拔去らねはならぬ我等が或る點正規化に適適合しないと言ふそれは
何であるか即ち、それはいささか遊撃主義の習氣が存在すると言ふ
ことである長期の遊撃戦争中に於て、それらは色々な不規則な常態
ではない、生活、及戦争の環境が形成する所から發展し來つたので
ある我等は遊撃戦争の侍長を發揚すべきである遊撃戦争の侍長

外務省

(日本標準規格B5)

IMT

289

192

0156

192

1450

一、 懇坦白なること
一、 精神を振作し雄壯活潑な軍人の氣概があるを必要とする
一、 健康強なる自体を持つてゐることが必要である
一、 軍事知識に高邁であり軍事に明るく軍事を學習する
一、 重ねて學習し重ねて研究する
一、 六仕事を切實に行ひ話は簡單に要領を得てゐる
これ等は政治上に於て一個の革命軍人たるのみならず同時に軍事上
に於ても亦これ一個の軍人であるために必要なものである

外務省

(日本標準規格B5)

IMT

289

191

0155

三、作戦中最も必要なことはこれ我等が迅速なる機關を持つと言ふことである若し戦斗の局勢が不利であつても頗る機動的であれば敵人から離脱出来るのである大なる戦斗中に於ては只自己を顧みることか出来ぬことか出来ないものである。必す各々か協同一致せねばならない、若しそうてなかつたならば局部的動作か整個の戦斗に、作戦指揮上、兵か使用上に於て小部隊の使用と指揮法に影響を表現するであらう故に大部隊の指揮は出来得くもなく、優勢なる兵力があつても頗るよくこれを集中使用することか出来ないこととなりう

(四)我等の部隊は攻撃精神に於て旺盛である然し防禦力は旺盛でない遊撃戦の主なるものはこれ主動的進攻戦であるとして進攻か成功しなければ撤退するのであるから只攻撃ばかりを養成すればよいとして防守をしない

(五)我等は生活上に於て非常に嚴肅になることか出来ずまた堅持性に

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

194

0158

あるよき傳統は遊撃戦争の勝利を爭取條件を言ふのであるか此の以外に多くの悪い習氣、例へば作風上から言へば戦斗上に於て生活上に於て工作上に於て悉ふ、いくらかの遊撃主義の習氣か現はれてゐるのである我等の遊撃主義の最大のものか現在次の如きものである

(一)生活と行動上に於て散漫としてたちて居り一定の規律性と組織性かない

(二)軍事紀律か嚴密でなく馬々々(人か馬たと言へばそうたと言ひたと言へばそうたと言ふ定見なきを言ふ語)て任務に對して堅決、堅持を以て之れを執行しない例へば一個の任務を分配して彼に與へたならば彼はこれに對して全的に承服せずして批判を加へ二時間必要とすると言ひて一時間を遅らした彼は作戦中に配合すへきへきを決定しても彼は文句を言つて規定を執行しないと云ふか如きである

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 289.

193

0157

197

1450

し遊撃主義の習氣を清算せねはならないと考へるものである然らざれば我等の建軍をして順利に進行せしめることは出来ないてあらう第三、堅強は有力なる政治工作を保證するものである假りに若し堅強にして有力なる政治工作がなかつたならば建軍の順利なる完成は把握し得ないであらう我等は悉く政治上に於てこれらの人々に對して建軍の認識を提高せねはならない同時に政治上に於て彼等の政治的積極性を提高して熱烈に建軍工作を執行し各種の制度規則の鞏固を保證せねはならぬ、これか我等建軍工作の主要條件である

(日本標準規格B5)

IMT 289

196

0160

外務省

196

1450

缺けて居り頗る多くの場合組織ある動作を持つ事か出来ない
(内公器、武器に對して愛惜せず随意に破壊するこれは充分に遊撃主義の習氣である
(外)制度を遵守しない、例へば我等は經濟上豫算、決算の規定、一定の手續が必要であるか、この一種の制度に對して遊撃主義の習氣はこの規律に慣れやうとせずして往々馬々々にやる
(八)小團體觀念を形成し自己を省みることばかりで大團體の精神に缺けてゐる
斯くの如き遊撃主義の習氣は我軍の建軍を妨害し我軍の正規化を妨害する、故にこれは清算せねはならぬ我軍は須らく我等の遊撃戦争の優良なる特長を發揮せねはならないのである然して目前の作戰に於て多くの惡しき不利なる習氣を捨て我軍をして正揮軍の生活、正規軍の規律をあらしめてこそ初めてよく長期の遊撃戦をなし正規戦を行ひ得るのである自分は將來我等の部隊中に再び一つの運動を起

(日本標準規格B5)

IMT 289

195

0159

外務省

197

1450

し、境況に反對して一種の領導の作用を取得すべきであつて抗敵（新四軍の機關誌）も各支隊と同じく主要な責任は、ここにあるのである。報紙の多くの提唱は氣運を造成するものであるから自然に迅速に全軍に作用するものである。會國藩の如きは次の如く言つた「一度ひ之を唱すれば百人これに和す」と我等の報紙は須らくかかる責任を負つてかかる作用を起し發揚し創造して我等の建軍を保障せねばならぬ。

第七 如何なる困難環境の下にあつても我等は建軍工作を把握し、繼續して不斷に努力し、この方面に向つて前進し、困難に逢着しても退かぬ事によつて初めてよく一面作戰一面建軍の口號實現に到達し得るのである。最後に我等か建軍の成功に到達するためには必ず本軍一切の指揮員、戰闘員、工作人員を動員して然して皆か建軍のため奮闘すべきである。

建軍の成功は即ち新たな段階の任務を完成し以て抗戰勝利の基礎

外務省

（日本標準規格B5）
IMT 289.

198

0162

198

1450

第四 建軍工作の任務を完成するためには文化水準を提高すべきである。我等の幹部が字を知らなければ何を用ひて書を見、軍事を研究し得やうか、即ち字を知らなければ或ひは講し或ひは聽いて瞭解し接受することは困難である、であるから我等は文育を消滅して幹部をしてよく識字せしめねばならぬ。

第五 科學的常識を持つことか必要であるから部隊中に於て自然科學の教育を進行すべきである。軍事は最も科學的であり一切の科學を集合し、科學を運用せねばならぬものであるから科學的常識がなかつたならば我等は軍事技術の學理を了解することか出來ず巧妙に軍事技術を使用することか出來ない。また更に近代の武器を使用することとは困難である。故に文化水準の提高と科學常識の提高とはこれ建軍のための一個の基本工作である。

第六 宣傳教育、我等の機關紙は建軍を宣傳するのみならず部隊中の一切の優良なる所を發揚し優良なる所を鼓勵し、惡しき所を指斥

外務省

（日本標準規格B5）
IMT 289.

197

0161

REEL No. A-0243

0108

アジア歴史資料センター

1450

を造ることであるこの基礎があり此の力量があるならば必ず戦争の勝利も取得し得るのであり日軍の如何なる企圖にも戦勝出来るのである、只建軍の完成があつてのみ我等は初めてよく新段階の任務を完成し以て抗戦最後の勝利を獲得する任務を盡し得るのである

以上

外務省

(日本標準規格B5)
IMT 269. 199

0163